

学校教育目標「心豊かで自立して生きる生徒」

碧  
へき

心  
しん

令和7年度 3つの重点

①時を守る ②場を清める ③礼を正す



令和7年度第9号  
令和8年1月8日発行

秩父市立秩父第二中学校

二中ホームページでも閲覧できます



新年を迎えて～2026年をよいスタートで～

校長 横田 健男

新年、明けましておめでとうございます。

新しい年を迎え、保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

旧年中は、本校の教育活動に対して多大なるご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

本年も引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

子供たちは、新年・新学期を迎えて気持ちを新たにしていることと思います。目標を確認し、達成を目指して進んでいってほしいと思います。

さて、今年は「午年」です。干支の中でも、午は前向きなエネルギー・成功・繁栄のシンボルとして日本人に長く親しまれてきました。

また、「午年は縁起がよい」と言われてきたそうです。「縁起がよい」と言われる理由を2つあげてみます。

#### 1 前へ進む象徴

午は本来、前進する動物であり、後ろを振り返らずに前へと進む姿は、夢に向かって突き進む人の象徴でもあります。2026年という新しい年のスタートに、「挑戦」「目標」「飛躍」など、ポジティブなイメージをもつことができる干支です。

#### 2 神の使い

神社に奉納される「絵馬」は、もともと午が神様の使いとされていたことに由来します。願いを午に乗せて届けるという信仰から始まり、今でも多くの人々が初詣で「絵馬」を奉納します。そのため午は、「願いを届ける存在」「福を運ぶ動物」として特別な意味をもっています。



巨大絵馬（美術部制作）

2026年、「午年」は勢いよくスタートし、飛躍の年にしたいものです。

#### 地域の方から寄せられた声（12月3日、秩父夜祭にて）

「旧ベスト電器北側に設置した仮設テントが、突然の強風により飛ばされそうになりました。そこにいた複数の二中生が、テントの脚を押さえて対応してくれました。」という声が学校に届きました。

連絡をいただいたおかげで、学校外での生徒の様子がありました。ありがとうございました。